



実証実験 公募プログラム

Open Call for Field Trials



国立研究開発法人 科学技術振興機構 日本科学未来館

日本科学未来館



日本科学未来館(Miraikan)は、

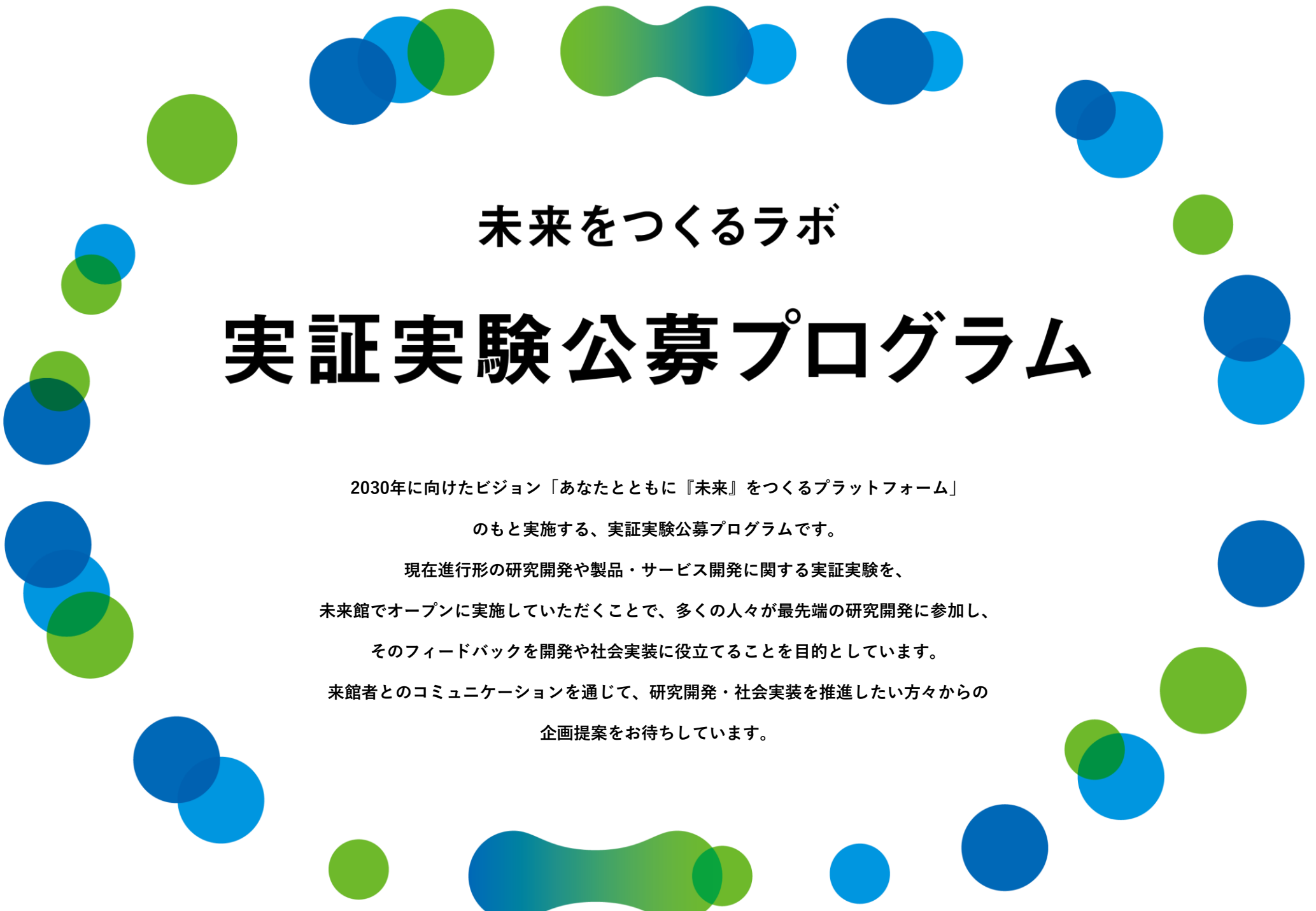
科学技術を文化として捉え、
社会に対する役割と未来の可能性について考え、
語り合うための、すべての人々にひらかれた場

を理念に設立しました。

※2001年7月に開館した国立の科学館で、
国立研究開発法人 科学技術振興機構（JST）が運営しています。

Vision

あなたとともに「未来」をつくるプラットフォーム



未来をつくるラボ 実証実験公募プログラム

2030年に向けたビジョン「あなたとともに『未来』をつくるプラットフォーム」

のもと実施する、実証実験公募プログラムです。

現在進行形の研究開発や製品・サービス開発に関する実証実験を、
未来館でオープンに実施していただくことで、多くの人々が最先端の研究開発に参加し、
そのフィードバックを開発や社会実装に役立てることを目的としています。
来館者とのコミュニケーションを通じて、研究開発・社会実装を推進したい方々からの
企画提案をお待ちしています。

特徴と活用できるリソース

未来館をフィールドとして活用

未来館の施設を活用した実証実験を企画、実施することができます。
未来館各所は無償でご使用いただけます（実施場所の決定については個別相談）。

来館者の声が直接に得られる

年間約100万人が訪れる未来館で、年齢や国籍など多様な来館者を対象に実証実験を実施することで、
研究開発や商品・サービス開発について幅広いフィードバックを得ることができます。

来館者とのコミュニケーションを支援

実証実験支援経験のある未来館スタッフや科学コミュニケーターが、来館者から意見やフィードバックを得るまでの
コミュニケーションの工夫・ノウハウについてアドバイスを提供します。

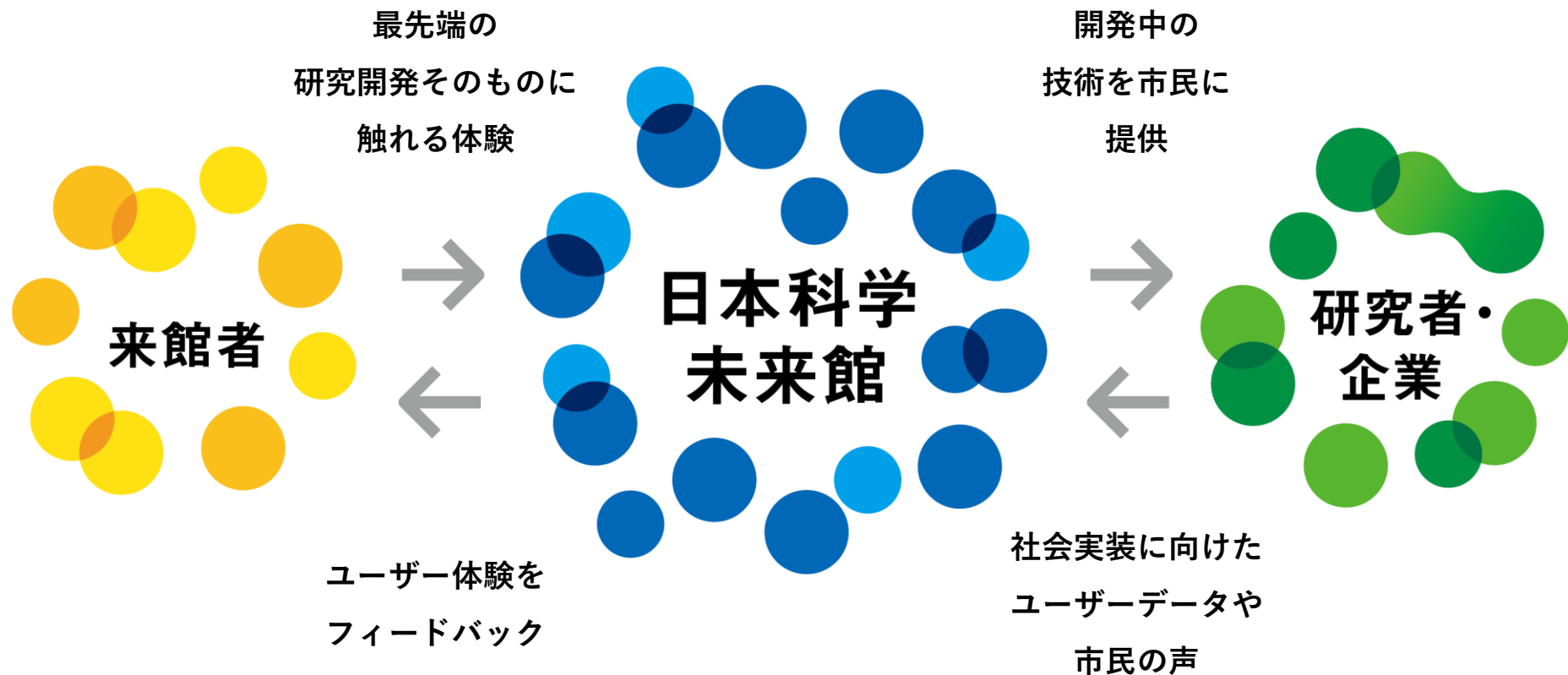
事務局メンバーの伴走体制

企画・実施について、ミュージアム・リビングラボ担当の経験豊富な事務局メンバーが一貫して伴走いたします。

告知協力や実績の掲載

未来館のホームページ等で、実証実験にかかわる告知や実績を掲載します。

未来館をフィールドにした実証実験の流れ



採択から実施までの流れ・期間

Step_1

募集・
応募

Step_2

書類選考
審査、調整

約2ヶ月

Step_3

実施契約
締結

約1ヶ月

Step_4

実施
計画書
提出

Step_5

実証実験
実施

約1年(最大)

報告書
提出
(終了)

※ 上記は想定です。採択後にご相談のうえ、実際の計画を策定します。

募集要項(概要/抜粋)

対象となる企画

来館者が参加し、その声を研究開発や新たな製品、サービス開発に反映させることを目的とした実証実験の企画
(既存の商品またはサービスの広報・マーケティングや、商品化またはサービス化前の導入調査と見なされるものは、本プログラムの対象となりません。)

実施規模・対象

来館者を対象とした100名以上の参加やデータ取得等を目指すもの。

実施場所

未来館各所：

1階及び7階の貸出施設、3階“おや？”っこひろば内特設スペース、5階ロビーエリア、6階・7階のドームシアター前ロビー、3階・5階常設展内

※無償でご使用いただけます。 ※実施場所については個別協議の上、決定とさせていただきます。

※1階及び7階貸出施設：<https://www.miraikan.jst.go.jp/visit/facility-rental/>

費用負担

実証実験実施にかかる費用は実施者の負担になります。

公募実施頻度（予定）

年1～2回程度の募集を検討しております。

※その他応募方法詳細などは以下ホームページをご参照ください。<http://www.miraikan.jst.go.jp/research/trial-project/koubo/>

実証実験事例

自律走行ロボット



周囲の環境を学習し、自律的に移動するロボットの実証実験。周囲を行き交う人々や障害物をセンサーで感知して避けながら移動し、走行データを収集して環境に適応していきます。

実施者： 国立研究開発法人産業技術総合研究所
人工知能研究センター

実施場所： 常設展内

AIスーツケース



視覚障害者の移動を支援する自律型ナビゲーションロボットの実証実験。常設展内でのツアー体験を通して、体験者からのフィードバックや走行データを収集します。

実施者： 一般社団法人次世代移動支援技術開発
コンソーシアム

実施場所： 常設展内

3Dフードプリンターで作るお寿司



3Dフードプリンターで作った寿司ネタを来館者とともに試食。技術とともに、未来の食の可能性と期待や課題、社会受容性などを検証しました。

実施者： 「知的やわらかものづくり革命」
プロジェクト

実施場所： 5階ロビー

FAQ

●来館者数を教えてください。

年間約100万人。土・日・祝日は一日平均約2,000～3,000人、平日は一日約1,000～2,000人です（繁忙期を除く）。＊2024年度実績

●来館者の内訳を教えてください。

全体の6割が18歳以上、男女比はほぼ半々。2割が団体で、主に学校です。近年、外国人来館者も増えています。＊2024年度実績

●広報や集客の支援はありますか。

未来館公式ホームページ等での告知や情報発信を予定しています。そのほかの広報・集客は、実験実施者が主体となります。

●実証実験のフィードバックを基に計画を見直すことは可能ですか。

研究目的を変更することはできませんが、より充実した実証実験に向けて計画の見直しは可能です。

●未来館の周辺も実験に使えますか。

本プログラムでご提供する実験フィールドは、未来館施設及び所有する敷地内となります。

公道・公園など周辺地域に関しては実験実施者ご自身で管理者にお問い合わせいただきます。

●実証実験公募以外の形で実証実験等を行うことはできますか。

未来館には、併設されている「研究エリア」に入居し、継続的な研究や実証実験を実施できる公募制度が別にあります。

詳しくは別途お問い合わせください。

●実施者の費用負担について教えてください。

実験の実施や運営にかかる機材準備や会場制作、運営人件費などの費用は、実施者負担となります。

未来館の会場使用料は無償となり費用は発生いたしません。なお、未来館からの助成金や補助金などの金銭支援はございません。

お問い合わせ

国立研究開発法人科学技術振興機構

日本科学未来館 科学コミュニケーション室 ミュージアム・リビングラボ担当

〒135-0064 東京都江東区青海2丁目3番6号

お問い合わせ: <https://www.miraikan.jst.go.jp/contact/research-trial.html>

電話：03-3570-9199 (受付時間：10:00 ～17:00)

※土曜日、日曜日祝祭日を除く

未来館ホームページ (<http://www.miraikan.jst.go.jp>) で最新の情報をご覧ください。